

令和 7(2025)年度 茨城大学 社会人リカレント教育プログラム専門コース 「サステナビリティ学」 科目等履修生募集要項

「社会人リカレント教育プログラム専門コース」は、変化する社会環境に対応し、次世代を担う人材の育成を目指すリカレント教育プログラムです。パッケージ化された本学学士課程の正課授業科目を科目等履修生※として履修し、特定の分野を体系的に学修することができます。

本専門コースは、学校教育法に基づく特別の課程(履修証明プログラム)であり、修了者には同法に基づく履修証明書が交付されます。

社会人の多様な学修ニーズに対応するため、6 単位 1 年以内のベーシックプランと 12 単位 2 年以内のアドバンスプランを設け、働きながら学べる環境を整えています。

本専門コースの学修を通じて受講者のキャリア形成を支援し、地域の持続的発展に貢献する人材育成を目指します。

※科目等履修生

科目等履修生は、本学で開講している授業科目を履修することを志願する者が、本学の授業及び研究に妨げのない限り、選考のうえ、入学を許可するものです。

授業科目を履修し、試験等で一定の成績を修めると単位が与えられます。

この単位は、大学の正規の単位となりますので、受講者が短大又は高等専門学校の卒業者の場合には、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学士の学位を申請する際の単位として活かすことができます。また、各種資格の取得要件として活用できる場合もあります。

茨城大学社会連携センター

1. 名称

- (1) 茨城大学社会人リカレント教育プログラム専門コース「サステナビリティ学」(ベーシックプラン)(以下「ベーシックプラン」という。)
- (2) 茨城大学社会人リカレント教育プログラム専門コース「サステナビリティ学」(アドバンスプラン)(以下「アドバンスプラン」という。)

2. 目的

地球社会の持続可能な発展を導くための学問分野である「サステナビリティ学」を学び、気候変動をはじめとする地球環境問題の原因や解決策を探究します。環境・社会・経済が複雑に絡み合う現代において、将来の地球と社会に関わる多面的な課題を、分野横断的な知識を組み合わせることで総合的に理解し、課題解決に取り組む力を養います。

企業や自治体において、組織のサステナビリティ戦略の立案や環境経営の推進に科学的根拠をもって貢献し、持続可能な社会の実現に向けてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指します。

3. 総授業時間数

- (1) ベーシックプラン 68 時間 15 分以上
- (2) アドバンスプラン 136 時間 30 分以上

4. 入学資格

高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められる者

5. 入学時期

令和 7(2025)年 9 月 21 日

6. 募集定員

- (1) ベーシックプラン 2 名
- (2) アドバンスプラン 2 名

7. 在学期間

- (1) ベーシックプラン 1 年以内
- (2) アドバンスプラン 2 年以内

8. 授業科目

別添の授業科目一覧をご参照ください。

授業科目の詳細は、Web シラバスでご確認ください。

https://syllabus.ibaraki.ac.jp/syllabus_ref/

9.修了要件

- (1) ベーシックプラン 別添の授業科目のうちから、必修科目を含め、6単位以上を修得すること。
- (2) アドバンスプラン 別添の授業科目のうちから、必修科目を含め、12 単位以上を修得すること。

10.履修証明書

修了要件を満たした者に対しては、学校教育法 105 条に基づく履修証明書を交付します。

11.出願期間

令和 7(2025)年 7 月 22 日(火)から 7 月 30 日(水)まで(土、日及び祝日を除く。)

※定員に達し次第、受付を終了させていただきます。

12.出願手続

- (1) 検定料 9,800 円

出願にあたっては、検定料の納入が必要となります。

検定料の納入に必要な「検定料振込依頼書」について、あらかじめ受付窓口にご連絡・お取り寄せの上、納入ください。

- (2) 出願書類

入学志願者は、次の書類を添えて、受付窓口へ郵送又は持参にてご提出ください。

ア 申込書(所定の様式)

イ 科目等履修生入学願書(所定の様式)

ウ 履歴書(所定の様式)

エ 最終出身学校の卒業証明書又は卒業見込証明書

オ 勤務している者は勤務先所属長の承諾書(所定の様式)

カ 検定料の振替払込受付証明書

※ 出願書類の受付は期間内必着とします。

※ 出願書類に不備がある場合は受理できません。

13.選考方法

入学志願者から提出された出願書類に基づき、審査を行い、可否を決定します。

14.選考結果通知

可否の結果は、令和 7(2025)年 9 月 10 日(水)までに通知します。

15.入学手続

- (1) 入学料 28,200 円

合格通知を受けた者は、同封の「入学料振込依頼書」により、令和 7(2025)年 9 月

12 日(金)までに入学料を納入ください。

期限までに入学料が納入されなかった場合には、入学は認められません。

(2) 入学料の振替払込受付証明書の提出

「入学料の振替払込受付証明書」を受付窓口に郵送又は持参にてご提出ください。

(3) 入学許可

「振替払込受付証明書」を受領後、入学許可を通知します。

16. 授業料

(1) 授業料の総額

ア ベーシックプラン 88,800 円(6 単位)～(選択する授業科目数により変動します)

イ アドバンスプラン 177,600 円(12 単位)～(選択する授業科目数により変動します)

※ 授業料 1 単位につき 14,800 円

(2) 授業料の請求

授業料は、履修する授業科目が属する学期ごとに請求します。「授業料振込依頼書」により、所定の期日までに納入ください。

(例) 後学期に 3 単位分の科目を、次年度前学期に 3 単位分の科目を履修する場合

・後学期に納入する授業料:44,400 円

・次年度前学期に納入する授業料:44,400 円

17. 保険の加入

授業中をはじめとする学生生活の中で起きた事故等に対応するため、保険(学生教育研究災害傷害保険及び学生付帯賠償責任保険)への加入を義務づけています。

選考結果通知に同封の「払込取扱票」により納入ください。

(1) ベーシックプラン 1,340 円(学生教育研究災害傷害保険:1,000 円+学生付帯賠償責任保険:340 円)

(2) アドバンスプラン 2,430 円(学生教育研究災害傷害保険:1,750 円+学生付帯賠償責任保険:680 円)

18. 入学後の科目申請

入学後、次学期以降に履修する授業科目については、次の期間(休日等を除く。)に申請いただきます。詳細は次学期授業科目案内時に履修者にお知らせします。

(1) 前学期に履修する授業科目 3 月 1 日から 3 月 10 日まで

(2) 後学期に履修する授業科目 7 月 20 日から 7 月 30 日まで

19. 個人情報の取扱い

ご提出いただいた個人情報は、個人情報の保護に関する法律、関連法令及び国立大学

法人茨城大学個人情報保護及び管理規程に基づき適正に管理し、以下の目的の範囲内で利用します。取得した個人情報は、法令に基づく場合を除き、第三者に提供することはありません。

- (1) 入学選考・入学手続
- (2) 履修者への連絡
- (3) 学籍管理
- (4) 授業の履修に必要なオンラインツール等、本学が提供する情報サービスへの登録
- (5) 本学が主催・共催する講演会等の案内
- (6) 本学の教育改善や広報活動を目的とした、個人が特定できない形での集計・分析

20. その他留意事項

- (1) 既納の検定料、入学料、授業料及び提出書類は返還できません。
- (2) 履修が許可された科目以外を履修することはできません。
- (3) 別添の授業科目については、変更される場合があります。

21. 受付・問合せ窓口

茨城大学研究・社会連携部社会連携課社会教育グループ

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1

電話：029-228-8438

E-mail: adm-shakaikyoku.sbx@vc.ibaraki.ac.jp

窓口時間：平日 9:00～17:00(12:00～13:00 除く。)

【別添】授業科目一覧

時間割コード	開講部局	授業科目名	担当教員	開講区分	開講曜日・時限	単位	受講条件等	開講形態
KB9537	SSC	★環境と経済のサステナビリティ:気候変動編	田村 誠	3Q	金 2	1	気候変動問題に関心があること	オンライン(リアルタイム)
KB9531	SSC	★アグロエコロジー	小松崎 将一	4Q	金 2	1		オンライン(オンデマンド)
KB9540	SSC	★環境と経済のサステナビリティ:エネルギー編	田村 誠	4Q	金 2	1	エネルギーとその持続可能性について関心を持っていること	オンライン(リアルタイム)
KB9650	SSC	【必修科目】サステナビリティ学入門	小寺 昭彦	前期集中※	集中	2	環境問題、持続可能性について関心を持っていること。	対面(水戸キャンパス)
KB9417	SSC	★計算機実験とエネルギー技術	池田 輝之,篠嶋 妥	1Q※	金 2	1	前半の内容理解のためには、高校の微積分の知識が必要になる。	オンライン(リアルタイム)
KB9419	SSC	★微生物と人間社会	坂上 伸生,大瀧 徹也	1Q※	金 2	1		オンライン(リアルタイム)
KB9431	SSC	★地球環境と人間活動	田中 伸厚	1Q※	金 2	1		オンライン(リアルタイム)
KB9440	SSC	★エネルギーと材料	佐藤 成男,西 剛史	2Q※	金 2	1	高校で学ぶ物理、化学の基礎学力を有すること。	オンライン(リアルタイム)
L3337	人文社会科学部	社会政策論	清山 玲	後期	火 3	2		対面(水戸キャンパス)
LB1028	人文社会科学部	平和学	蓮井 誠一郎	後期	金 4	2	学生とのディスカッションが何度かありますので、それに積極的に参加し、学生と同じ目線でやりとりができることが大切です。	オンライン(リアルタイム)
LB1030	人文社会科学部	社会行動論Ⅰ	伊藤 哲司	後期	月1	2		オンライン(リアルタイム)
LB1045	人文社会科学部	環境・経済・社会	田村 誠	後期	金 3	2		対面(水戸キャンパス)
L2354	人文社会科学部	社会行動論Ⅱ	伊藤 哲司	前期※	火 2	2		対面(水戸キャンパス)
L2364	人文社会科学部	国際政治学	蓮井 誠一郎	前期※	金 4	2		対面(水戸キャンパス)
LB1015	人文社会科学部	地誌学概論	Chienwei YEh	前期※	火 4	2		オンライン(リアルタイム)
P0321A0	教育学部	自然地理学特講	松岡 憲知	後期	火 1	2		対面(水戸キャンパス)
P0407A0	教育学部	英語文学概論B	小林 英美	後期	火 3	2		対面(水戸キャンパス)
P0437A0	教育学部	英語文学・文化演習B	小林 英美	後期	木 4	2		対面(水戸キャンパス)
P0408A0	教育学部	英語文学特講Ⅰ	小林 英美	前期※	火 3	2		対面(水戸キャンパス)
P0607A0	教育学部	化学概論	青島 政之	前期※	月4	2		対面(水戸キャンパス)
P7001A0	教育学部	衛生学	瀧澤 利行	前期※	金 4	2		対面(水戸キャンパス)
S1304	理学部	生物学通論Ⅱ	北出 理	後期	火 2	2		対面(水戸キャンパス)
S1424	理学部	古海洋学	岡田 誠	前期※	火 2	2		オンライン(リアルタイム)
T6078	工学部	景観工学	平田 輝満,仲間 浩一	4Q	木 2	1		対面(日立キャンパス)
T1007	工学部	機械材料工学Ⅰ	小貫 哲平,伊藤 吾朗	後期	水 5	2	ノートパソコンなどの情報端末とネットワーク環境が必要である	対面(水戸キャンパス)
T1038	工学部	環境工学	田中 伸厚	後期	月2	2		対面(日立キャンパス)
T6009	工学部	都市・地域計画	平田 輝満,海野 遥香	後期	月2	2		対面(水戸キャンパス)
T6031	工学部	社会基盤工学概論	平田 輝満,車谷 麻緒,桑原 祐史,小林 薫,藤田 昌史,伊藤 大知	後期	火 4	1		ハイフレックス(水戸キャンパス)

【別添】授業科目一覧

時間割コード	開講部局	授業科目名	担当教員	開講区分	開講曜日・時限	単位	受講条件等	開講形態
T6048	工学部	地球環境工学	横木 裕宗, 藤田 昌史	後期	火 3	2		対面(日立キャンパス)
T6051	工学部	水環境学	藤田 昌史	後期	月1	2		対面(日立キャンパス)
T6055	工学部	河川・水文学	横木 裕宗, 増永 英治, 白川 直樹	後期	月2	1		対面(日立キャンパス)
T6006	工学部	都市システム工学序論	平田 輝満, 熊澤 貴之, 小林 薫, 辻村 壮平, 横木 裕宗, 藤田 昌史, 肥田 剛典	前期※	木 1	1	都市システム工学に関する調査・設計・施工・維持管理などの経験を有する方が望ましい。	対面(水戸キャンパス)
T6050	工学部	上下水道工学	藤田 昌史	前期※	月1	2		対面(日立キャンパス)
T6054	工学部	振動及び耐震工学	肥田 剛典	前期※	水 2	2		対面(日立キャンパス)
T6056	工学部	海岸工学	横木 裕宗	前期※	火 3	2		対面(日立キャンパス)
T6057	工学部	地盤工学	小林 薫	前期※	月2	2	地盤に関する調査・設計等の業務を行った経験がある方が望ましい。	対面(日立キャンパス)
AN2278	農学部	農作業学	小松崎 将一	後期	水 1	2		対面(阿見キャンパス)

「サステナビリティ学入門」は必修科目です。

★…ベーシックプランでの履修を推奨する科目です。

※…令和8年度前学期開講予定の科目です。変更又は開講されない可能性があります。

【開講形態】

- (1) 対面: キャンパス内の同一教室等において対面で実施する授業
- (2) オンライン(リアルタイム): オンラインツールを利用して授業をリアルタイム配信する同時双方向型オンライン授業
- (3) オンライン(オンデマンド): オンラインツールにアップされた教材や指示書を各自受講後、速やかに質問等を受け付けるオンデマンド型オンライン授業
- (4) ハイフレックス: 対面授業を実施しながら、オンラインツールを利用して当該対面授業をリアルタイム配信し、対面で受講する学生、オンラインで受講する学生をあらかじめ指定して実施する授業

授業回により対面とオンラインが混在する授業もございますので、あらかじめ授業科目の詳細をWebシラバスでご確認ください。

https://syllabus.ibaraki.ac.jp/syllabus_ref